

第5回 小学校統合検討審議会

日 時：令和2年11月19日（木）

午後2時

場 所：役場第1会議室

次 第

1. 開会のことば
2. 委員長あいさつ
3. 議事
 - (1) 統合校の候補地について
 - (2) その他
4. 閉会のことば

統合校の候補地について

第5回小学校統合検討審議会
令和2年11月19日

第4回での質問(宿題)への回答

- 小中一貫教育に関して、近いところで行うべきか、離れていても可能なのか
- B案の道路反対側の民有地の購入に関して、可能性はあるか
- C案の開発予定計画に関して、所有者の最新の意向は
- 保護者に対して審議会での議論の過程等を伝える中で、いろいろな意見を吸収しながら検討するような方策が取れないか

小中連携、小中一貫、小中一貫教育制度の関係 ³

小中連携教育

小・中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

現在 山中湖村で実施

今後 山中湖村で導入を検討

小中一貫教育

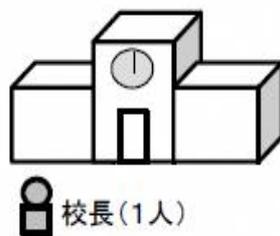
小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育を目指す教育

①義務教育学校

・新たな学校種(一つの学校)

⇒一人の校長、
一つの教職員組織

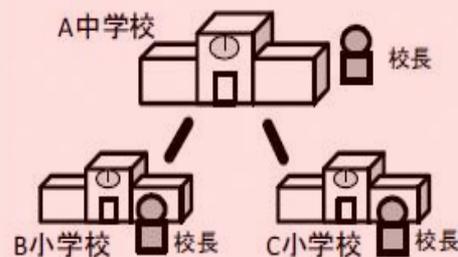
修業年限:9年
(前期課程6年+後期課程3年)



小中一貫型小学校・中学校

・組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態
⇒それぞれの学校に校長、教職員組織

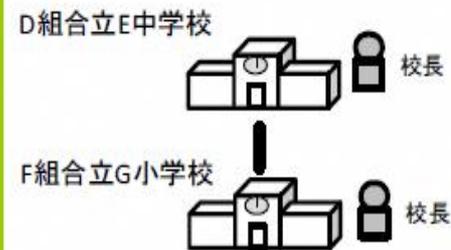
②併設型小学校・中学校 (同一の設置者)



※一貫教育にふさわしい運営体制の整備が要件

例・総合調整を担う校長を定める
・学校運営協議会の合同設置
校長室を併設

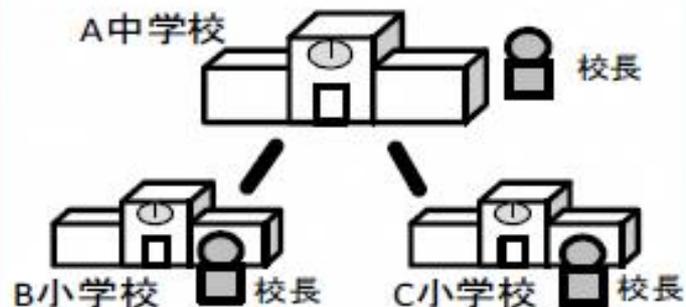
③連携型小学校・中学校 (異なる設置者)



※併設型小・中学校を参考に適切な運営体制を整備すること

※①②③いずれも施設の形態は問わない。

②併設型小学校・中学校 (同一の設置者)



※一貫教育にふさわしい運営体制の整備が要件

- 例・総合調整を担う校長を定める
- ・学校運営協議会の合同設置
- ・校長等を併任



施設 一体型



施設 隣接型



施設 分離型

どの型でも可

山梨県内では平成31年4月から

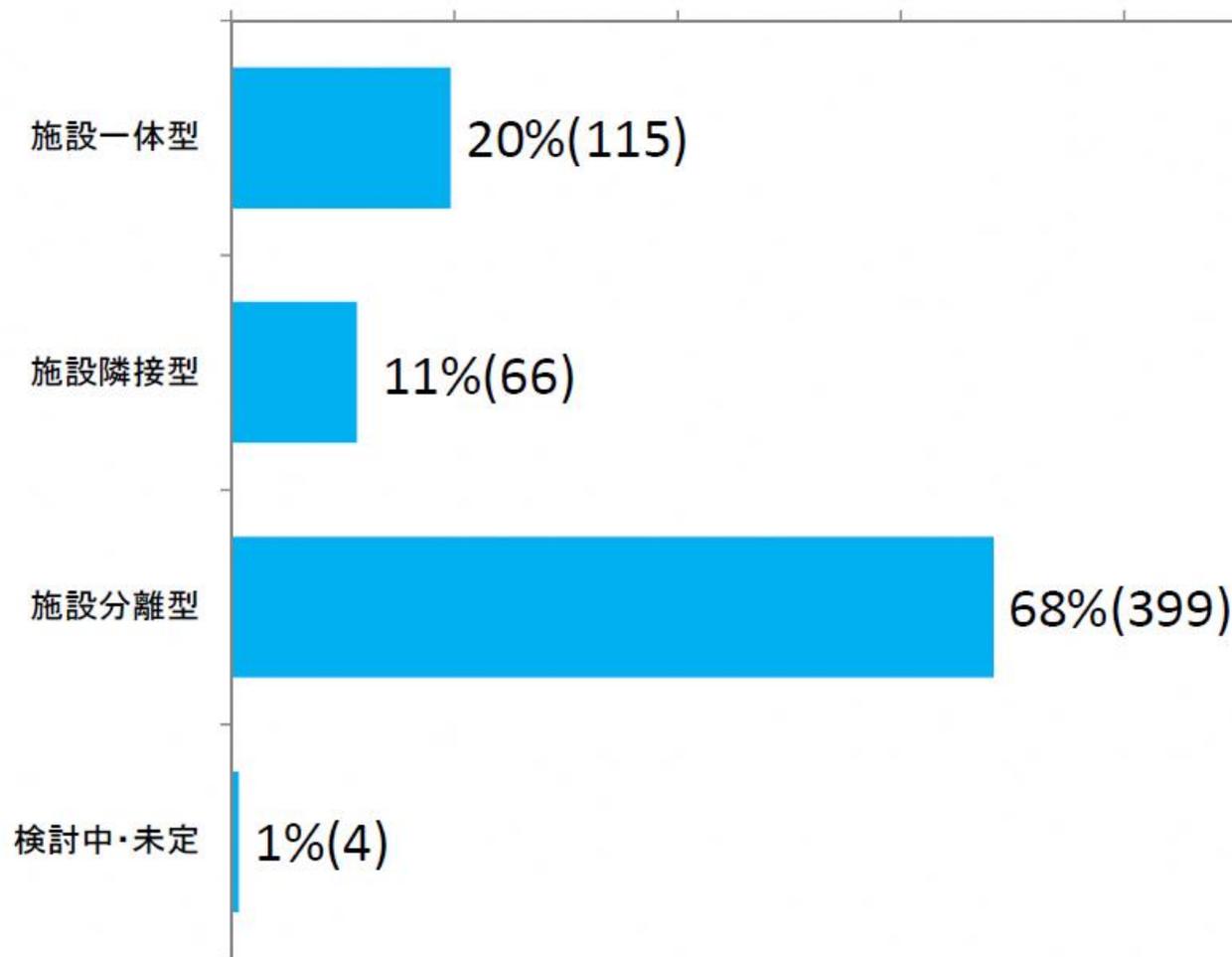
○ 隣接型で → 芦安小学校 — 芦安中学校 * 同敷地内

○ 分離型で → 八田小学校 — 八田中学校 * 1.2km離れ

併設型小学校・中学校の施設形態

【国立・公立・私立】

文部科学省調査より 平成29年4月1日現在



※予定を含む。

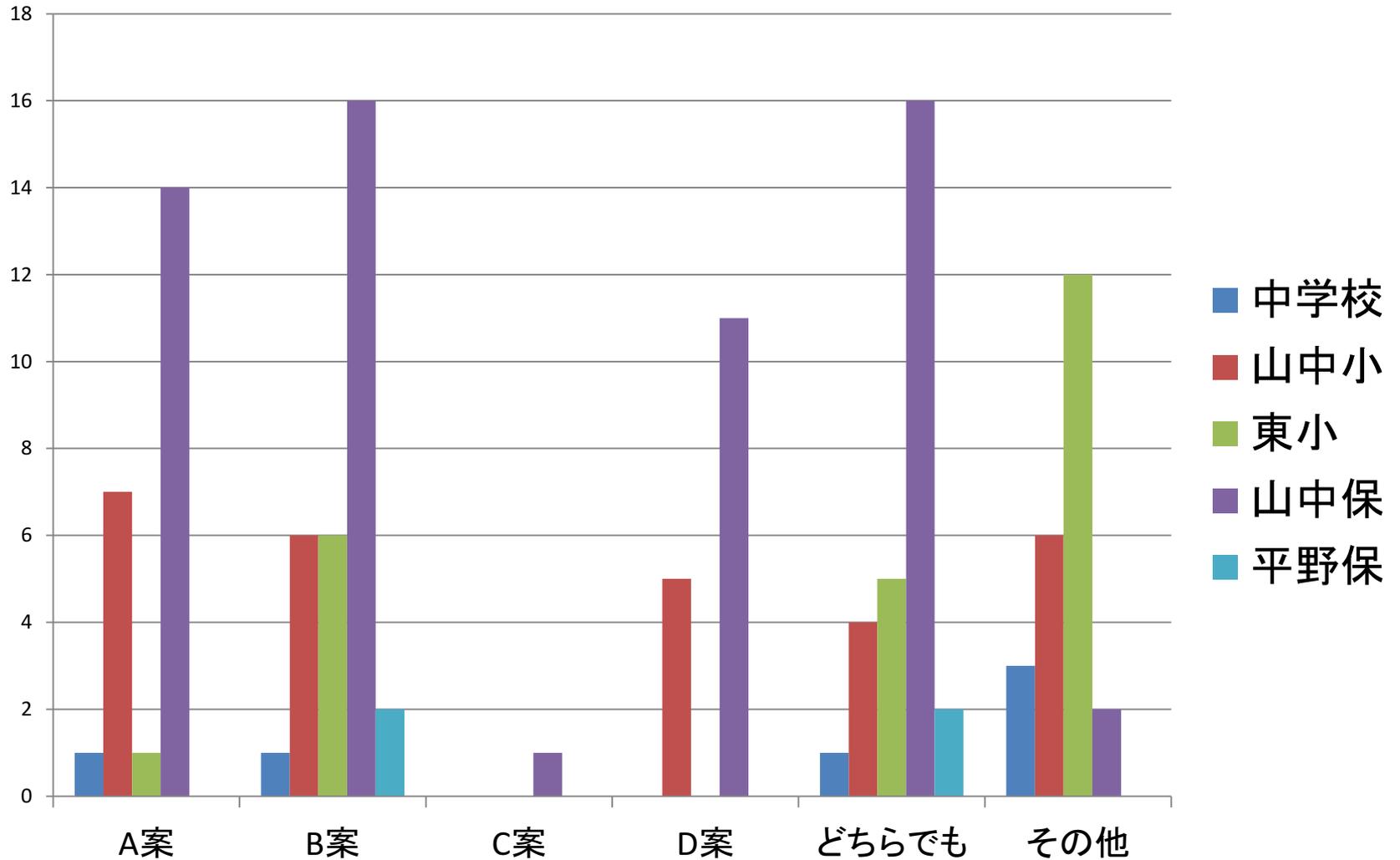
回答:584件(併設型小学校・中学校設置及び設置予定、設置検討中件数)

統合全般につきまして、候補地につきまして、ご意見・ご質問がありましたら本シートにご記入の上、11月9日（月）までに各保育所及び各学校に提出していただくようお願いします。

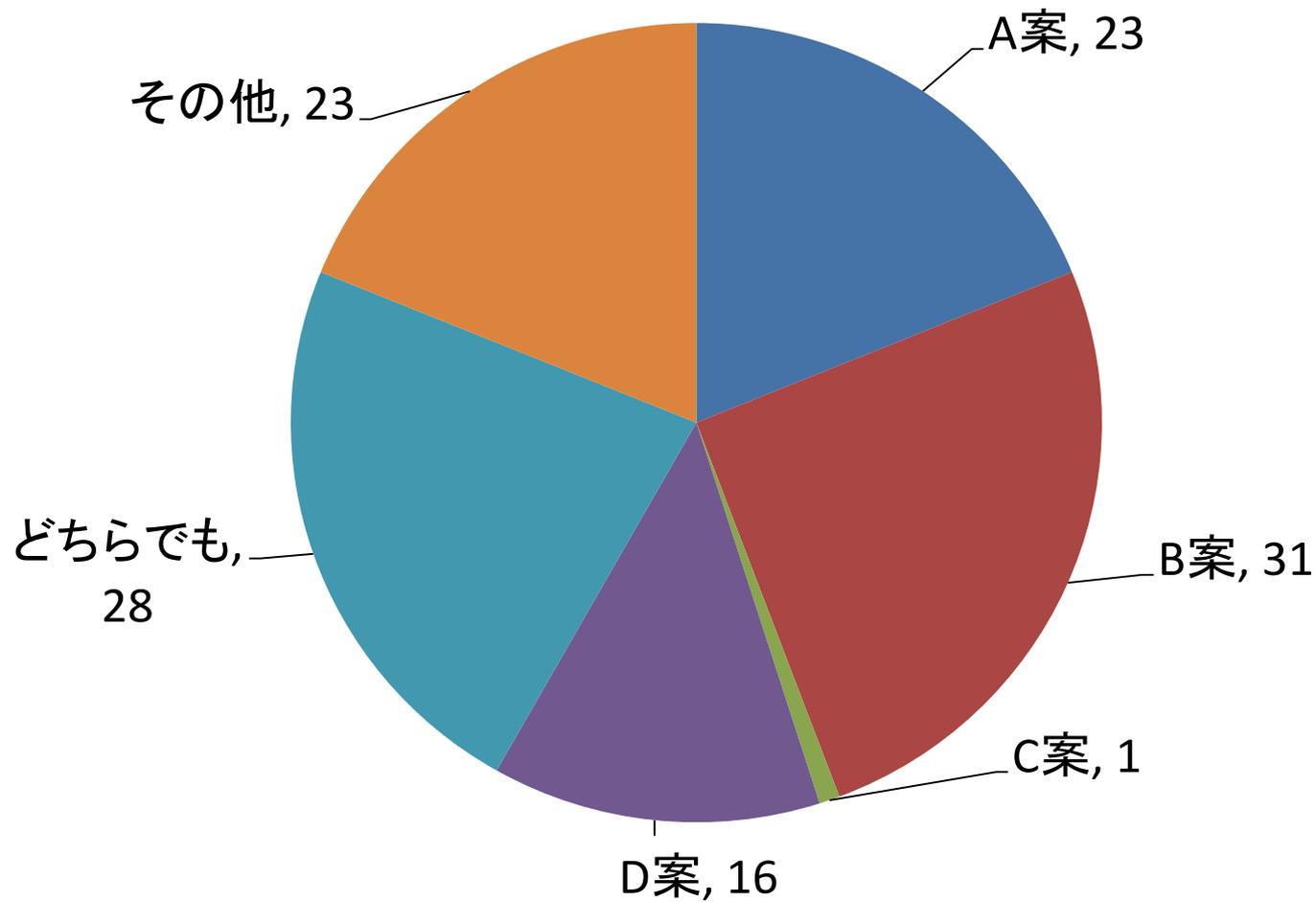


	A案	B案	C案	D案	どちらでも	その他	合計
中学校	1	1	0	0	1	3	6
山中小	7	6	0	5	4	6	28
東小	1	6	0	0	5	12	24
山中保	14	16	1	11	16	2	60
平野保	0	2	0	0	2	0	4
合計	23	31	1	16	28	23	122

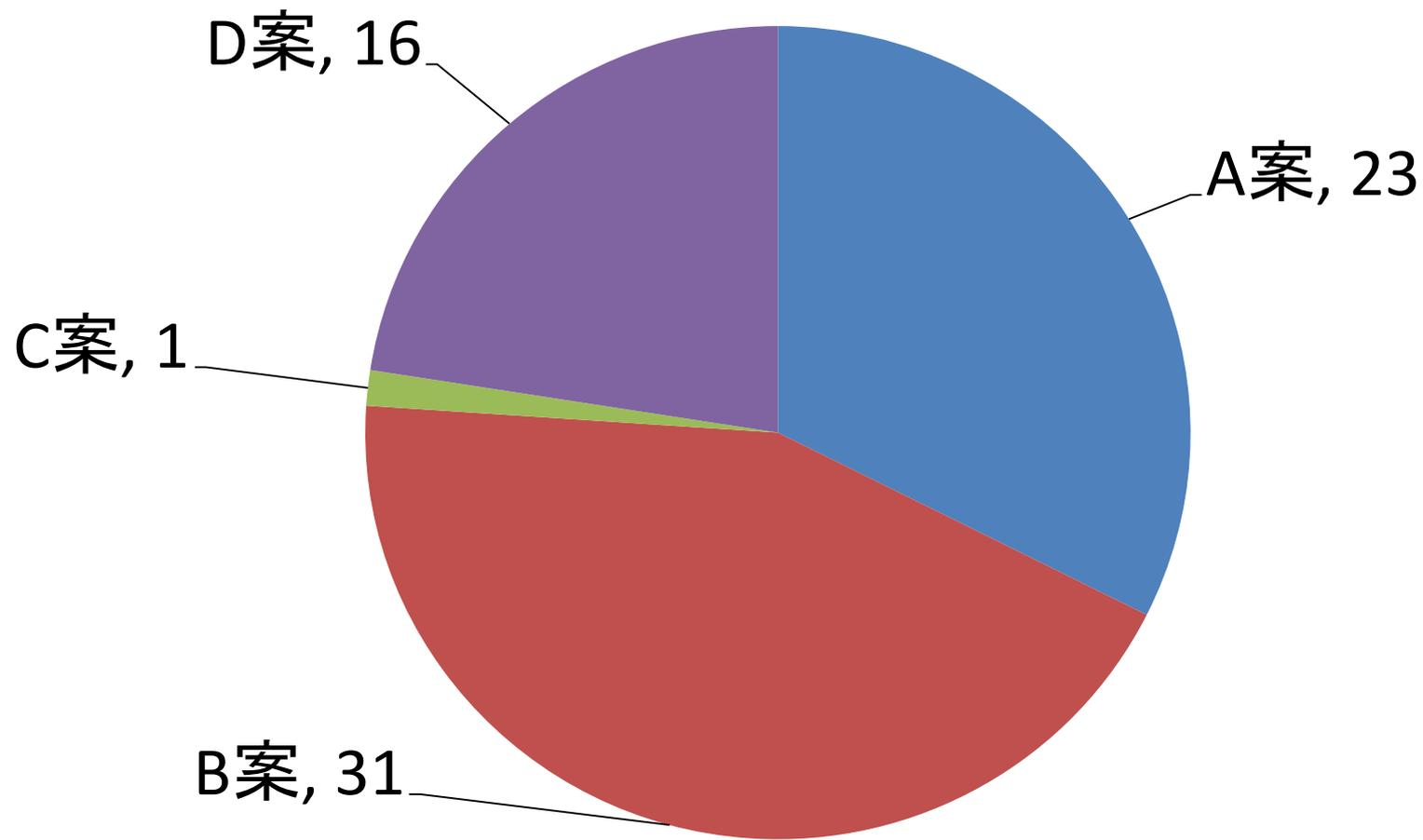
候補地について(所属別)



候補地について(全体)



候補地について(4案)



主な記述(複数回答)

	メリット	デメリット
A案	既存施設(体育館・グラウンド)が利用可、予算を他に有効に使える	入り口が狭く安全確保、緊急時、送迎で問題あり
	防災上安全(土砂災害警戒地域、噴火避難区域でもない)	
	2km以内の通学者が多く、徒歩で通しやすい	
B案	一貫教育がやりやすい	施設が供用のために使用制限や危険が予想される
	小中が隣接し送迎、災害時の引き渡しがしやすい	土地が狭い、購入が必要、
	中学校、役場と隣接し安心	
C案		奥まっけていて、防犯や降雪・凍結など安全面で問題が多い 様々な観点から候補としてありえない
D案	交通の便・アクセスが良い	早急な建設を考えると難しい
	防犯上民家が多く安全	案としてあがるのがおかしい

* その他 記述の中で多いキーワード → 安全 送迎 早く